

健康づくり委員会で、普通救命講習を開催！16名参加！
クイズ：福山市に救急車は何台配備されていますか？



1月30日（木）ふれあい診療所にて、健康づくり委員会主催の「普通救命講習会」を福山北消防署駅家分署の救命救急士2人の指導で開催しました。最初に、路上で倒れていた人を発見したと想定してのやり取りから始まりました。

まず人を呼ぶ「誰か、手を貸してください。」「あなたは119番に電話して救急車を呼んでください。」「あなたはAEDを持って来てください。」と周囲の人に

助けを求めてください。倒れている人の肩をたたき、大きな声で「どうされましたか？聞こえますか？」と反応を見て、目を閉じたまま呼吸をしていないと判断したら、直ちに心臓マッサージを行います。胸骨の中央より少し下のあたりを両手で押します。

また、AEDを使用しても反応が無い場合、救急車が到着するまで、マッサージを続けます。救急車の到着まで、平均6分から9分かかります。その間1人でマッサージをするのは体力的に無理です。周りの人との助け合いが必要です。救命処置をすることで生存率は上がります。説明の後、2グループに分かれて心肺蘇生、AEDの実技を行いました。参加者から、のどに物が詰まった時どうしたら良いか等、質問が多く出されました。講習終了後、参加者に「普通救命修了書」が授与されました。参加者の感想：「良いチャンスを貰いました。知らないことだったので本当に良かったです。」「何度か聞いていても再度、講習を受けると、また新しい発見があり意識も変わりました。参加して良かったです。」

クイズの答え：15か所に救急車16台配備